

# 伝説の奇岩 信夫山 48石探索

## コース案内

駒山広場 → 護國神社 → 遍照院 → たんたら清水  
→ びつき石 → 小金山公園 → えぞむろ → 屏風岩  
→ 第二展望台 → 甘粕の碑 → ゆず畑 → 護國神社  
→ 駒山広場



### ① 遍照院

信夫山墓地を登り、信夫山一周道路を右に曲がると太平山遍照院に至る。弘法大師生誕1200年を記念して昭和50年に開かれたお寺で、遍照院四国八十八寺石仏を公開している。ひな壇のつづれ折りで道路に面しており、だれもが自由に礼拝できる。



### ② ちご石 (硯石)

県文化センターから登り、東稜高校のグラウンドの上に、ちご石と弁慶の硯石がある。昔、雨乞いの祈祷で、稚児が岩の上で舞ったといわれる行場のひとつで、岩の上にもう一つ弁慶の硯石が乗っている。



### ③ 雷神碑と蛙石 (びつき石)

たんたら清水の東、鶏頭の森に奇妙な形の石がある。巨大な蟾蜍の形をしていることから誰言うともなく蛙(びつき)石と呼ばれるようになった。農民の雨乞いの祈禱場だったもので、後ろに明治の雷神碑が祀られている。



### ④ えぞむろ

第二展望台から小金山公園に繋がる山路にある。巨岩の下にポッカリと口を空けた岩穴で、その昔、エゾ(アイヌ人)の人が住んでいたと伝えられる洞窟。タタミ6畳ぐらいの広さがある。山路は昔の山伏の修験道で、森と緑のトンネルコースの一つでもある。



### ⑤ 屏風岩

昔の第二展望台だった所で、江戸時代までは物見の台として使われていたと云う。屏風岩はその名の通り垂直に立ちあがっている岩で手すりが付いている。ぐるりとひと巡りできるが、見上げるとかなりの高さがある。



### ⑥ 重箱石

屏風岩の上にある重箱石は巨大な長方形の石で、同じく手すりが付いており眺めがよい。南朝時代の小山蔵人の山城跡ともいわれ、僧兵(山伏・衆徒)の中核をなしていた。信夫山48石のひとつでもある。



### ⑦ ゆず畑

かつては北限のゆずといわれた信夫山のゆずは、形は無骨だが香りが高く効能がよいと評判で、販路は遠く新潟・北海道まで及んだという。昔、羽黒山が都からお守りに持ってこられたものとされ、江戸中期から本格的に栽培されてきた。



### ⑧ 440段の石段

第二展望台の西端に、小金山公園に下りる440段の石段がある。途中、小休憩所があり屏風岩を見上げることができる。中ほどの東に48石の大岩があるが、林間が深く迎えることが難しい。小金山周辺は、昔の段島の面影があり、珍しい石倉(石を積んだ防火壁)も見ることができる。

